

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	有限会社 九州メディカル・サービス		
事業所名	グループホーム「安心」しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	平成22年1月10日	評価結果市町村受理日	平成22年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年2月17日	外部評価確定日	平成22年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ユニットA・B	入居者本位の介護を第一としており、その人がその人らしい生活ができるように援助を行っている。入居者のやる気を引き出すため、利用者ができる事は行ってもらい、学習療法等も積極的に行っている。
---------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

2ユニットを有する事業所であるが、事業所内は機能的な設えになっており、居間からは死角となる場所も無く見通しよく造られている。桜の木のある中庭にはデッキも設置され、花見等の楽しみの場所にもなっている。職員は利用者のプライドや意向を尊重し、一人ひとりが自分らしく気ままに暮らしてもらえるように支援している。医療支援体制においては、協力医療機関が24時間の受診と往診が可能であり、家族にとっても安心できる体制である。

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営会社の理念を基に事業所独自の理念を掲げ、朝礼時の唱和を行い、理念の具現化に取り組んでいる。	運営会社の理念を基に事業所独自の理念を掲げ、朝礼時の唱和を行い、理念の具現化に取り組んでいる。	法人の理念を基に、地域密着型サービスの役割を踏まえた理念を作成している。日々の朝礼時には理念を唱和し、また、会議等の折にも話し合っ共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの催し物の際は、地域の方に参加していただけるよう声掛けはし、参加していただいている。しかし地域での行事には参加できていない。	ホームでの催し物の際は、地域の方に参加していただけるよう声掛けはし、参加していただいている。しかし地域での行事には参加できていない。	地域のボランティア(歌や踊り等)に来てもらったり、夏祭りやクリスマス会には近隣の人達も招いて交流をしている。また、地区の秋祭りの時には獅子舞に来てもらっている。自治会にも加入し回覧板も届けられている。	共に暮らす地域住民の一員として地域の行事や活動等に参加したり、普段の暮らしの中で地域活動や人々との関わりが一層充実したもとなるよう更なる取り組みを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員の方と話し支援を行っているが、大体的には行っていない。	民生委員の方と話し支援を行っているが、大体的には行っていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行っていない。	運営推進会議を定期的に行っていない。	今年度は会議が1回しか開催されておらず、内容的にも災害対策訓練の報告や行事計画の伝達に留まっており、課題解決等の話し合いまでには至っていない。	開催頻度や内容及び参加メンバーの構成等を再検討し、サービス向上のための一層充実した会議になることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	連絡は行っているが、密にはできていない。	連絡は行っているが、密にはできていない。	地域包括支援センターの担当者とは、折に触れ、情報交換を行い利用者の紹介等も受けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止について理解している。夜間の利用者の安全確保以外の施錠は行っていない。	身体拘束禁止について理解している。夜間の利用者の安全確保以外の施錠は行っていない。	職員は身体拘束の弊害を理解し、安全に配慮しつつ自由な暮らしを支援している。玄関のドアも扉間は施錠をしておらず、自由に出入りができる。利用者の外出希望時には、止めることなく同行し見守っている。玄関には音センサーが設置されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し学ぶ機会を作り実施している。	研修に参加し学ぶ機会を作り実施している。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者及びケアマネは理解しているが、職員も理解できるよう研修に参加し学ぶ機会を作っている。	管理者及びケアマネは理解しているが、職員も理解できるよう研修に参加し学ぶ機会を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者には事前に十分な説明を行い、施設見学の後、納得された上で契約を行っている。	入居希望者には事前に十分な説明を行い、施設見学の後、納得された上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームに要望BOXを設置している。また契約時に苦情等の外部窓口の連絡先等を説明している。	ホームに要望BOXを設置している。また契約時に苦情等の外部窓口の連絡先等を説明している。	家族の面会時には声をかけ、意見や要望等なんでも言ってもらえるように配慮している。また、玄関に意見箱を設置したり、年に1回は、葉書による家族から法人当てる苦情等の表出の機会を作っている。出された意見や要望等に対しては、職員間で話し合い対処している。	家族が意見や苦情等を一層伝えやすい環境作りとして、家族会の設立や家族同士の懇親の機会作りにも取組まれることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや個人面接時を定期的に行い、要望等を反映できるように取り組んでいる。	カンファレンスや個人面接時を定期的に行い、要望等を反映できるように取り組んでいる。	管理者は日常の勤務時や毎月の職員会議の折に職員からの意見や要望等を聞き、運営に反映している。会議では職員も積極的に提案をしている。また、個別の面談も実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境、働き甲斐のある環境を作るよう取り組んでいる。	働きやすい環境、働き甲斐のある環境を作るよう取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外の研修や法人内の勉強会等に参加し、より実践的に学べるよう取り組んでいる。	法人外の研修や法人内の勉強会等に参加し、より実践的に学べるよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のホーム間での職員の相互訪問、地域内で行われている地域ケア会議に出席できるよう取り組んでいる。	法人内のホーム間での職員の相互訪問、地域内で行われている地域ケア会議に出席できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に担当者を決め、しっかりと話す機会を作り要望や不安なことに耳を傾け、よりよい支援をできるようスタッフ全員で努めている。	本人に担当者を決め、しっかりと話す機会を作り要望や不安なことに耳を傾け、よりよい支援をできるようスタッフ全員で努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見や要望をしっかりと聞き取り、家族の意見を反映できるようにしている。	家族の意見や要望をしっかりと聞き取り、家族の意見を反映できるようにしている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と話をし、ケアマネジャーを中心に支援を行うよう努めている。	本人家族と話をし、ケアマネジャーを中心に支援を行うよう努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事は本人に行ってもらい、身体機能の維持・向上を目指している。	できる事は本人に行ってもらい、身体機能の維持・向上を目指している。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の意見を聞き、共に支援を考え利用者を支えていけるよう関係を築いている。	家族の意見を聞き、共に支援を考え利用者を支えていけるよう関係を築いている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人に手紙を出したり、関係が途切れないように努めている。	利用者の友人に手紙を出したり、関係が途切れないように努めている。	利用者にとっての馴染みの人や場所等の把握はできており、年賀状や手紙による関係の継続を支援している。また、本人の希望時には、これまで利用されていた美容院等へ一緒に行くこともある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ここの特徴、生活層を把握した上でお互いがコミュニケーションを取れるよう支援している。	ここの特徴、生活層を把握した上でお互いがコミュニケーションを取れるよう支援している。			

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も施設行事への参加の促しや継続的に連絡を行うように努めている。	退居後も施設行事への参加の促しや継続的に連絡を行うように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い、ケアマネージャーを中心に全職員が情報を共有して支援している。	アセスメントを行い、ケアマネージャーを中心に全職員が情報を共有して支援している。	日常の関わりの中で声をかけ、言葉や表情等から把握するように努めている。困難な場合には、家族等から情報を得、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントや日常会話の中から生活歴の把握に努め、ケアプランに反映できるように努めている。	アセスメントや日常会話の中から生活歴の把握に努め、ケアプランに反映できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の介護を通し、職員間で現状把握と自立に向けたサービスの提供に努めている。	1日の介護を通し、職員間で現状把握と自立に向けたサービスの提供に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは本人の意志・家族の意見を聞きながら作成している。またスケジュール記録のインデックスにケアプランを提示し、全職員が把握できるようにしている。	ケアプランは本人の意志・家族の意見を聞きながら作成している。またスケジュール記録のインデックスにケアプランを提示し、全職員が把握できるようにしている。	利用開始時の介護計画は、本人や家族と話し合いながら作成している。職員間では1ヵ月毎に確認し、ケア会議でも話し合っ定期の見直しを行っている。	介護計画の見直し時には、本人をよく知る家族や関係者との話し合いをもち、一層、利用者の視点にたった介護計画が作成されることを期待したい。また見直し後の計画についても利用者や家族に十分な説明がなされる事を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護スケジュール、業務日誌等に毎日記録を行い、休日であった職員が出動しても状態が分かるように努めている。	介護スケジュール、業務日誌等に毎日記録を行い、休日であった職員が出動しても状態が分かるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し、可能であれば実施するように努めている。	関係医療機関と連携し、可能であれば実施するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のお店等に職員と一緒にできるだけ出かけるように努めている。	近所のお店等に職員と一緒にできるだけ出かけるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅総合診療を利用し、適切な医療の提供を受けられるように支援している。	在宅総合診療を利用し、適切な医療の提供を受けられるように支援している。	利用者の多くは以前からのかかりつけ医を受診されており、主治医の変更は本人や家族の意向によってなされている。事業所と医療機関との連携も良好で、適切な診療が受けられるように支援している。協力医療機関の受診時は、職員が介助し、家族に結果を報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態を観察し、少しでも状態に変化があれば看護師に報告するようにしている。	利用者の状態を観察し、少しでも状態に変化があれば看護師に報告するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	毎週1回関係医療機関の職員と情報交換を行い、早期退院に向けた準備を行っている。	毎週1回関係医療機関の職員と情報交換を行い、早期退院に向けた準備を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医師と密に話し合いを行い、本人、家族が希望する方針を決め、それを家族、医師、職員全員で共有できるよう努めている。	家族、医師と密に話し合いを行い、本人、家族が希望する方針を決め、それを家族、医師、職員全員で共有できるよう努めている。	契約時に重度化や終末期における事業所の対応や力量等を説明し、本人及び家族の意思を確認している。利用者の状態の変化に応じ段階ごとに家族の意向等を確認し、家族や医師、職員等で方針を共有し支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、勉強会等も定期的に行っている。	緊急時マニュアルを作成し、勉強会等も定期的に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施しており、近隣にも応援していただけるよう呼びかけている。	年2回の消防訓練を実施しており、近隣にも応援していただけるよう呼びかけている。	毎年、火災時の避難及び消防(消火・通報)訓練を実施している。避難訓練は夜間を想定し、消防署の協力も得ながら実施している。近隣へも避難訓練の実施については伝えているが、積極的な参加協力を依頼するまでには至っていない。	夜間時など限られた人数での避難誘導に限界があることを具体的に確認し、近隣住民の参加・協力も得られるような積極的な取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに合わせた声掛け、対応を行い、居室に入室する際はノック声掛けをするなどプライバシーを守るよう努めている。	利用者一人ひとりに合わせた声掛け、対応を行い、居室に入室する際はノック声掛けをするなどプライバシーを守るよう努めている。	職員は利用者のプライドやプライバシーに配慮した言葉かけや対応をしている。トイレへの誘導時には、静かに声をかけさり気なく介助したり、居室への入室時には必ず声かけをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その方にあったサービスを提供できるように努めている。	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その方にあったサービスを提供できるように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者中心、自分らしく一人ひとりに合った時間の過ごし方をサポートしている。	利用者中心、自分らしく一人ひとりに合った時間の過ごし方をサポートしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問美容室に来てもらっている。また希望者には行きつけの美容室にスタッフと行けるよう支援している。	月1回訪問美容室に来てもらっている。また希望者には行きつけの美容室にスタッフと行けるよう支援している。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	宅配食のため予め献立は決まっているが、利用者の希望があったときは取り入れるようにしている。職員も同じように食事をしている。	宅配食のため予め献立は決まっているが、利用者の希望があったときは取り入れるようにしている。職員も同じように食事をしている。	利用者の力を活かしながら盛り付けや配膳、後片付け等を一緒に行っている。食事の時は、職員も一緒に同じものを食べ、楽しい雰囲気作りにも配慮している。また、嚥下困難等のある利用者には、ゆっくりとその人のペースに合わせて介助をしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日トータルの水分量、食事量を記録し、健康管理を行っている。	一人ひとりの1日トータルの水分量、食事量を記録し、健康管理を行っている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後必ず口腔ケアを行い、必要があれば時間をかけ清潔が保てるよう支援している。	食後必ず口腔ケアを行い、必要があれば時間をかけ清潔が保てるよう支援している。			

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックシートを用い、排泄のパターンを把握し、利用者合った排泄を心掛けている。	排泄チェックシートを用い、排泄のパターンを把握し、利用者合った排泄を心掛けている。	排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄を基本として支援している。利用者の多くは、紙パンツを着用されているが、中には、布パンツに変更できた方もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ばず影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養バランス、栄養価に配慮している。また牛乳やヨーグルトなど乳製品の提供や食物繊維が豊富な食事の提供を心掛けている。	栄養バランス、栄養価に配慮している。また牛乳やヨーグルトなど乳製品の提供や食物繊維が豊富な食事の提供を心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の手で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	原則的に週3回の入浴日を設けている。希望があれば毎日でも入浴可能としており、体調、プライバシーにも配慮しながら時間をずらしたり、柔軟に対応している。	原則的に週3回の入浴日を設けている。希望があれば毎日でも入浴可能としており、体調、プライバシーにも配慮しながら時間をずらしたり、柔軟に対応している。	基本的には週3回の入浴としているが、希望者は毎日の入浴も可能である。順番や時間等もできる限り本人の意向に添うようにし、入浴を楽しんでもらえるように取り組んでいる。なお、利用者によっては、同性の職員が介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活暦や状況に応じて、安心できる環境・空間作りに努めている。	利用者一人ひとりの生活暦や状況に応じて、安心できる環境・空間作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は看護師が管理しているが、職員も理解するようにしている。服薬の変更等があった場合は記録に残し、職員が確認できるようにしている。	服薬は看護師が管理しているが、職員も理解するようにしている。服薬の変更等があった場合は記録に残し、職員が確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中の内容等を参考にして、調理・洗濯行為一連や掃除・おしゃべり・畑仕事などの好みや経験を活かした役割や楽しみを提供できるよう努めている。	日常生活の中の内容等を参考にして、調理・洗濯行為一連や掃除・おしゃべり・畑仕事などの好みや経験を活かした役割や楽しみを提供できるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望者にはできるだけ行えるよう配慮している。また定期的に外出できる機会を作っている。	希望者にはできるだけ行えるよう配慮している。また定期的に外出できる機会を作っている。	気候の良い時期には週1回位の散歩をしたり、1～2ヶ月に1回ドライブをしている。なお、利用者が、買物を希望される時には、個別にも出かけている。中庭に面したデッキで花見やそうめん流しを楽しむこともある。	外出は気分転換やストレス発散の貴重な機会であり、日常的に短時間でも外出が出来るような一層の取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じて管理可能な方に関しては近所のスーパーやコンビニ等で買い物できる程度の金額は自己管理してもらっている。	本人の能力に応じて管理可能な方に関しては近所のスーパーやコンビニ等で買い物できる程度の金額は自己管理してもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望された場合は支援を行っている。	本人が希望された場合は支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾り付けをしたり、手作りの小物等を飾って家庭的な環境作りに努めている。	季節に応じて飾り付けをしたり、手作りの小物等を飾って家庭的な環境作りに努めている。	木柱の見える居間兼食堂は天井も高く、暖色系の照明で落ち着いた雰囲気である。居間の壁には、季節を表す折り紙の飾りも見られる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	今にはソファを設置し、思い思いに過ごせるような居場所作りをしている。またテーブルや一人かけのソファもあり、一人ひとりの時間を過ごせるようにしている。	今にはソファを設置し、思い思いに過ごせるような居場所作りをしている。またテーブルや一人かけのソファもあり、一人ひとりの時間を過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族と相談し、今まで使っていた家財道具を持ち込んでもらい、本人の慣れ親しんだ環境作りに努めている。	入居時に家族と相談し、今まで使っていた家財道具を持ち込んでもらい、本人の慣れ親しんだ環境作りに努めている。	職員は利用者にとって馴染みの物の持込を勧め、居室には、利用者が使い慣れている筆筒や鏡台等が見受けられる。また、利用者の自慢の写真や好きな有名人の写真等も飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家族の同意の下ネームプレートを各居室に設置し、場所が分かるようにしている。またテーブルや使用する物に名前を記載し、トイレ、浴室等もわかるように明記している。	家族の同意の下ネームプレートを各居室に設置し、場所が分かるようにしている。またテーブルや使用する物に名前を記載し、トイレ、浴室等もわかるように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		↓該当するものに○印をつけてください		
		ユニットA	ユニットB	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
		ユニットA	ユニットB	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない